

リユースが当たり前となる社会を目指して ～リユース食器ネットワークの活動

(一財) 地球・人間環境フォーラム 研究主任
リユース食器ネットワーク事務局

あまの みちこ
天野 路子

リユース食器ネットワークはお祭りなどのイベントで大量に消費され、廃棄される使い捨て容器のごみを減らそうと、繰り返し洗って使用するリユース食器(写真1・2)の普及啓発活動を行う国内のNPO/NGO、社会福祉施設、企業などが参加するネットワークです。2005年に誕生し、今年で20周年になります。

リユース食器は使い捨て容器の代替として使用されるため、安価であり、かつ業務用食器洗浄機や消毒保管庫での洗浄乾燥が可能で、破損した場合もマテリアルリサイクルが可能なポリプロピレン(PP)製のものが多く使用されています。輸送と洗浄を繰り返すことから、強度を保ちつつも、かさばらず、洗いやすく水切れしやすい工夫も施されています。

リユース食器ネットワークには、①食器をレンタルする団体、②使用済みの食器を洗浄するサービスを行なっている団体、③イベント会場で回収所の設営や運営コーディネートを行なったり、リユース食器導入のための各種サポートを行う団体など、①～③のいずれかの活動を行



写真1 リユース食器の写真(皿、カップ、スプーンなど)

なっている団体が参加しており、すべてに対応している団体もあります。

リユース食器ネットワーク設立前には、横の連携がないために遠方のイベントに環境負荷と費用のかかる方法でレンタルされていたり、一つの団体が保有する在庫では不足することなどもありました。地球・人間環境フォーラムはリユース食器の普及啓発活動を行う中で、リユース食器ネットワークの事務局として参加団体のとりまとめや団体間での情報交換、web〈<https://www.reuse-network.jp/>〉での情報発信を行なってきました。この横のつながりによって、地域内で容器を循環利用することと大規模なイベントでもリユース食器を利用いただけるよ



写真2 リユース可能なフタ(リッド)対応のリユースカップ

うになってきました。

また、当フォーラムは、衛生管理や環境負荷の低減効果の分析などを行なっています。食器の衛生管理については、食品衛生法において食器は清潔で衛生的であることと記載されていますが、衛生管理の方法や数値的な指標や基準は設けられていないため、文部科学省による学校給食のガイドラインや、厚生労働省による大量調理施設の衛生管理マニュアルなどを参考にした自主ガイドラインを作成し、参加団体はガイドラインに即した衛生管理を行なっています。

リユース食器を使用することによる環境負荷の低減効果についても科学的に検証しています。2003(平成15)年環境省請負事業の一環で東京大学 安井研究室の協力を得て、ライフサイクルアセスメント(LCA: Life Cycle Assessment)[†]を行いました。固形廃棄物は4.7回以上、CO₂排出量は2.7回

以上、水消費量は2.7回以上、エネルギー消費量は6.3回以上リユースカップを再使用すると紙コップより環境負荷が低減されるという結果になりました^{††}。衛生レベルと環境負荷のバランスをみながら、最適な洗浄方法や工程を模索しています。

コロナ禍が明け、新たな日常を持続可能性に配慮したものに進化させようと、イベントはもちろんのこと、オフィスやカフェなど日常的な場面でもリユース食器を導入する動きが全国で加速しており、洗浄施設の開拓にも力を入れています。

東京都大田区の都南工業給食協同組合はお弁当を製造し、区内の組合企業に配達しています。地方への工場移転やコロナ禍での廃業などで同区内の中小企業は減り続ける一方でお弁当を入手する選択肢が増え、お弁当の宅配事業は厳しい状況にありましたが、食器洗浄機や消毒保管庫を空き時間に有効活用する形で、リユース食器の洗浄サービスを開始しました。

(大) 山陽小野田市立山口東京理科大学(山口県小野田市)の第一食堂を運営する日本ピュアボックス(株)も食堂にある洗浄機と消毒保管庫の空き時間にリユースカップの洗浄サービスを開始しました。地域でリユース容器を循環させる中核として、他の大学への広がりも期待されます。

非日常、日常いずれの場面でもリユース容器が当たり前のものとして定着する日を目指して、リユース食器の普及啓発に今後も取り組んでいきたいと思ひます。

[†] LCAはある製品・サービスの資源採取から、生産・流通・消費・廃棄・リサイクルに至るまで製品の一生(ライフサイクル)を通じた環境負荷を定量的に分析、評価する手法

^{††} 詳細は「平成15年度リユースカップ等の実施利用に関する検討調査報告書」を参照。その他、リユース食器のLCA、オフィス利用を想定したシナリオによる分析も実施。詳細は地球・人間環境フォーラムのwebを参照〈<https://www.gef.or.jp/activity/3r/>〉